

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉原第一中学校 会長名 遠藤 祐佐

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ P T Aだよりの発行 (年3回)
- ・ 三校合同教育講演会 (ロゼシアター中ホール)
- ・ 富士まつり、吉原祇園祭夜間巡視
- ・ 校内奉仕作業 (年3回)
- ・ 三校合同ソフトバレーボール大会
- ・ 卒業生用コサージュ作り

取り組みの効果

1. 有
 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)
- 具体的な効果—

三校 (吉原小・伝法小・吉原一中) 合同事業を2つ行うことで、三校の P T A 役員の親睦が図れ、その中で、各校が実施している活動を共有することができた。また、定期的に P T A だよりを発行することで、多くの保護者に活動内容を理解してもらえ、P T A 活動に多くの方の協力を得られた。その結果、奉仕作業では、毎回多くの保護者にも参加してもらうことができた。また、富士まつりや祇園祭、夏休みなど年間4回夜間巡視を行うことで、地域の子どもたちに対して、多くの地域の大人が守っていることをアピールできた。

—反省点—

小中一貫教育の観点から、P T A 活動でも小中連携の意識が高まってきたが、現段階では、お互いの活動内容を確認し合っている段階である。

—改善案—

三校合同活動を考えた時に、より高い効果を期待するには、それぞれの P T A が一体となって、共同計画、共同実施を考えていく必要がある。また、何のために共同実施を行うのかという点を明確にするためにも、三校合同で何を目指していくのかの共通理解が必要である。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉原第二中学校 会長名 内野 郷視

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・三校合同事業（今泉小P T A主催）
- ・役員会（役員選出・行事の検討）
- ・給食試食会
- ・アイシングクッキー作り講座
- ・卒業生へのコサージュ作り
- ・朝の挨拶運動
- ・古紙回収
- ・奉仕作業
- ・普通救命法講習会
- ・P T A新聞発行
- ・情報交換会
- ・運動会準備

取り組みの効果

① 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・給食試食会、アイシングクッキー作り講座、給食試食会、卒業生へのコサージュ作りなどに多くの参加していただき、充実した活動となった。さらに、P T A新聞等により、それらの活動を地域に発信することができた。
- ・学校行事等に対して全面的にバックアップすることで、運動会や文化発表会などを円滑に運営することができた。
- ・朝の挨拶運動によって、子どもたちの健全育成につながった。
- ・古紙回収等の収益金は、教育活動に生かすための様々な物品を購入することにつながった。
- ・活動を通じて、様々な場面で保護者と教師が連携することにより、教育活動に対する保護者の理解が深まり、P T A活動は、学校には欠かせないものだと改めて感じる事ができた。
- ・地域小中学校P T A同氏が三校合同事業を通して交流できたことも今後の大きな財産となった。
- ・役員の負担軽減等を図るため、活動内容などを精選し、役員会を必要最低限に減らすことができた。
- ・副部長以上の役員の選出を、輪番制を一部取り入れたことによって、スムーズに組織が決まるようになった。

－反省点－

- ・P T A活動が活発になるにつれ、役員・教員の負担が増えてしまった。役員選出に苦勞する役職や地域が出てきてしまった。

－改善案－

- ・活動の改善、特に削減については、役員・教員とも、なかなか言い出せないものであるが、負担を感じるものについては遠慮なく意見を交換し合い、改善策を見つけ、状況によっては、削減していくことが大切であり、よりよいP T A活動につながっていくと思われる。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 吉原第三中学校 会長名 谷 宣弘

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

豊丘勤労体験学習 35周年記念事業の準備

25周年・30周年記念事業実施時の資料確認、概要把握、組織立ち上げ(準備委員会)、役割決定(懇親会、記念誌)、移動行程・日程決定、宿泊先手配

各役割の実施に向けた実施内容立案・計画

取り組みの効果

1. 有
 2. 無(なぜ効果がでなかったのかを-反省点-に記入)
- 具体的な効果—

誰も前回の内容を知らないまま、残された資料を熟読し、概要把握、各部に展開できるまでの落とし込みを実施。各部への展開後は、各部が協力してやるべきことの把握、計画立案、実施を行っていった。

皆で能動的に協力して話し合い、話を進めていく姿は、この行事を成功させようという皆の思いを感じ、とても頼もしく感じた。

—反省点—

現段階では、記念事業はまだ先(6/21・22)なので、記念事業そのものの反省はないが、準備を進める中で、進行に対する確認ができていないので、まだ数回ある準備委員会の中で確認をしていく。

—改善案—

反省点での進行確認と、次回40周年に向けて、次回実施者が内容把握をもう少しわかりやすくなるよう、今回の流れ・実施内容について資料を残そうと思う。

写真や映像も残しておく、次回は把握がしやすくなるかと思う。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 元吉原中学校

会長名 馬場 基弘

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・奉仕作業時の草刈機等の機械の台数を増やし、作業の効率化を図った。
- ・廃品回収の引き取り業者をシーズイシハラに一本化した。
- ・あいさつ運動を年3回、長期休業明けに設定して実施した。
- ・毘沙門天大祭パトロールは教員と保護者の担当地区を分担し、短時間で効率的に行えるようにした。
- ・8月と12月の支部長会は、議題や協議内容が少ないので中止した。

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・各活動や作業が効率的に行われ、教員と保護者の負担軽減になった。

—反省点—

- ・廃品回収の1回目と2回目の期間が短く、2回目の収益が少なかった。また、一部の近隣住民からは、「回数を増やしてほしい」との声も上がっているので、検討が必要。
- ・廃品回収時に、他業者が回収すべきものまで回収してしまった。

—改善案—

- ・地域住民には、学校用とわかるように張り紙等を添えてもらう。また、学校からの回覧をお年寄りにも見やすく工夫する必要がある。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉原東中学校 会長名 草野 純

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

1. 各専門部の活動
2. 楽しいP T A
3. P T A活動における役割分担

取り組みの効果

1. **有**
 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
- 具体的な効果—

1. 各専門部において円滑な活動が行われた。
2. 役員と先生方の親睦を深め楽しい1年でした。
3. 各部で役割分担を行い、人数が足りないところは保護者の協力があり、相互扶助ができた。

—反省点—

- ・地域行事への協力において、負担の大きい専門部があった。

—改善案—

1. 働いている方にも参加していただけるような体制作り
2. これからも少子化に伴い保護者の数が減ることが予想され、また、家庭環境の変化等があるため、従来通りのP T A役員の定数や活動の見直しに来ている時期であり、保護者に負担のないP T A活動を行いたい
3. 地域の特性として、外国人の保護者にも理解していただける広報活動を行いたい。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立須津中学校 会長名 臼井 優美

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ P T A活動の軽減を行い、役員・教員の負担を減らす。
- ・ 各部の活動を精選し、少ない回数の中での参加を促した。

取り組みの効果

1. ①
2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

－具体的な効果－

- ・ 少子化に伴う、地区役員の決定や P T A活動に参加する人数の確保が難しくなっていたが、活動を削減したことにより負担も減り、1回の参加数が増加した。

生活指導部

学年懇談会をなくした。→情報安全講座への参加を促し、参加者が増加

環境整備部

活動内容は据え置き。他の活動が削減された分、奉仕作業への参加が増加

体育保健部

P T A球技大会の練習日をなくし、負担を減らした。

成人教育部

年間3回発行の P T A新聞を2回に削減。内容を精選した。集まる回数も減り負担軽減となった。

家庭教育委員会

卒業生に贈るコサージュを手作りではなく購入に変更し、負担軽減をした。

－反省点－

- ・ P T A活動の削減により、役員や教員の負担は減ったが、活動が減ったことにより P T A活動の意義に疑問をもつ意見もでてきた。

－改善案－

- ・ 負担が減ったことへの賛成意見は多く、来年度も活動を増やすことなく続けていく予定だが、活動内容の精選を検討し、協力体制を組んでいけるようにする。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立大淵中学校 会長名 石川 昌己

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・成人教育部 年2回のP T A新聞「おおぶち」の発行
保護者向け教育講演会の実施（講師：伊藤健士氏 スポーツアナリスト）
- ・生活指導部 地区巡視、長期休業中の夜間パトロールの実施
朝の挨拶運動への参加や運動会当日の校内巡視
- ・環境整備部 年3回の古紙、アルミ缶回収の実施
校内の草取りや枝の剪定などを行う奉仕作業の実施
- ・体育保健部 P T A役員と教職員の親睦球技大会の開催
親子防災講座の開催
- ・家庭教育委員会 朝の登校時における挨拶運動と校内巡視の実施
マドレーヌと古着の販売、卒業生へのコサージュの準備
- ・P T A四役 3年生の合格祈願、合格鉛筆の贈呈
P T Aのつどいで動画による活動報告

取り組みの効果

1. **有** 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・本年度は、P T Aのつどいでの実践発表を控えていたため、役員と教員が接する場面が多くあり、気軽に声を掛け合うなど交流を深めることができた。
- ・各専門部の事業においては、「参加しやすいP T A活動」「人と人がつながるP T A活動」を心掛けたことで、多くの会員に参加してもらうことができた。中でも、人が集まらず2年連続で中止となっていた「親子普通救急救命講座」を、昨年度までの反省を生かし、内容を変更した「親子防災講座」とすることで実施に至った。地震の仕組みや被害想定、トイレの設置方法などを詳しく解説・実演してもらうことで、参加者が満足感を得られる講座となった。

—反省点—

- ・例年と比べ、各事業への参加人数は増えたが、まだまだ参加人数が少ない。
- ・家庭によって、参加が難しい事業（設定日、時間帯など）がある。

—改善案—

- ・広報活動の充実を図り、多くの会員が参加したくなるP T A行事にしていく。
- ・活動内容を精選し、どんな家庭でも無理なく参加できるP T A活動にしていく。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士中学校 会長名 四條 友紀

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

①【環境整備部（厚生部）】

アルミ缶回収活動を、生徒たちの専門委員会とP T Aがそれぞれ別日に実施していたのを、同日実施とし、共同で活動にあたった。

②【生活指導部（校外補導部）】

夏季休業中の巡視活動を、校内周辺巡視から校区周辺巡視に変更して実施した。

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
— 具体的な効果 —

①昨年まで別日に実施していたことで、活動の目的や成果が共有されないという課題があった。そこで、生徒会活動をP T Aがバックアップするという形に切り替え、委員会活動日に、P T A部員が生徒と一緒に活動を行った。委員会の生徒たちが時間的に余裕をもって朝読書に取り組めるようになっただけでなく、挨拶運動も兼ねて行うことで、登校の様子をP T Aも見守る機会が増えた。

②例年、学校敷地内巡視を行っていたが、本年度より校区内巡視に切り替え、3コースに分けて実施した。近隣の店舗や公園、遊技場など、生徒たちが集まりそうな場所を重点的に巡視し、校区の生活安全上、心配が懸念される場所をP T A部員で共有できた。

— 反省点 —

①リサイクル活動が朝の活動であることから、P T A部員が仕事前に参加することとなり、参加が難しいという意見があった。

②心配される店舗や公園となると、学区内に点在していて巡視すべきエリアが広く、徒歩では巡視しきれない。3コースに分けたが、1コースだけエリアが広すぎる。

— 改善案 —

①年間計画に位置付けられたリサイクル活動日に基づき、P T A部員の当番日を設け、輪番制として部員の負担をできるだけ少なくする。

②校区内全ての心配なエリアを巡視するのではなく、徒歩で行ける場所や重点個所を決めて、2コースで実施する。

平成 30 年度 P T A 活動最終報告

学校名 田子浦中学校 会長名 後藤栄紀

平成 30 年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ①活動内容の見直し：P T A 新聞の発行回数や地区懇談会の開催について見直しを行った
- ②役員選出支援：次年度役員選出当番地区に出向いて P T A 活動の内容や取組みの意義について説明し、積極的な参加を呼びかけた。
- ③地域とのつながり：地域教育連絡協議会、みなと祭り、地区文化祭、みなとマラソンなどの地区行事への参加

取り組みの効果

1 有 2 無（なぜ効果が出なかったのかを - 反省点 - に記入）

— 具体的な効果 —

①活動内容の見直し

P T A 新聞の発行回数を年 4 回発行から、2 回に変更したことで、新聞作成のための会合の回数を減らし、役員の負担軽減が図れた。

地区懇談会を各地区に出向いて 3 日間に渡って開催していたが、来年度より学校懇談会に変更することを決定した。これにより、先生方や各地区役員の負担軽減を図れる。

②役員選出支援

説明資料を作成し、役員選出当番地区に出向いて不安を抱いている保護者に対して P T A 活動内容やその意義について説明を行った結果、活動内容に対する理解が得られ、1 名だけだったが立候補者が現われた。

③地域とのつながり

地域教育連絡協議会を主催し、まちづくり協議会や地域の各種団体と方々との交流が図れた。また、各種イベントに中学生ボランティアを受け入れていただいた。

— 反省点 —

①役員の負担軽減を図ったが、活性化に繋がるような新たな活動は創出できなかった。

②役員選出の場に出向いて P T A 活動の説明と活動時間の説明を行うことで、活動に対する漠然とした不安の解消に努めたが、積極的な参加までは得られなかった。

③参加者がいつも同じ。これまで P T A 活動に参加したことがない、より多くの会員に参加してもらえ
る仕組みや魅力的な活動に取り組む必要がある。

— 改善案 —

参加したくなるような楽しい活動や活動の有用性を実感してもらえ
るような活動の創出について、みんなのアイデアを募る。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立岩松中学校 会長名 馬場 浩司

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

重点活動・・・五団体合同教育講演会

講師・・・・・・・・小林さやか氏（びりギャル本人）

テーマ・・・・・・・・「やってみなきゃわかんないっしょ!!!」

具体的取り組み

- ・講演会告知（宣伝）方法の改善
三役、部員の情報網を最大限活用して、校区以外に最大限ポスターを掲示した。
- ・観客のスムーズな会場誘導
受付と案内係との連携を密にして、スムーズに座席に誘導できるようにした。

取り組みの効果

1. ① 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・例年になく事前の問い合わせが多く（市外からも多数あり）、当日もかなりの観客数があった。
- ・開場後の混乱もほぼなく、スムーズに開演できた。
- ・講師が著名人であったため、写真撮影、サインなど大変盛況であった。

－反省点－

- ・講師が著名人であったため、講演料が予算オーバーした。
- ・会場（体育館2F）に向かう際に、行き方がわからず、戸惑った方が少数いた。（足が不自由な方が、エレベータを探していた。）

－改善案－

- ・校区外にポスター掲示した場所を、次年度の担当校に引継ぎ、告知に役立ててもらう。
- ・地域（市内）出身で、活躍中の方にもスポットを当て、講師選択の際の参考にする。（毎回予算オーバーしないために）
- ・会場に向かう道順を明確に示す。（矢印掲示などを活用）

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士南中学校 会長名 大芝 貴俊

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

・生徒、保護者、地域にとってより良い学校環境づくり

(1) 成人教育

P T A新聞の発行、三校合同事業「元吉原ウインドアンサンブルコンサート」を運営

(2) 体育保健

三校合同ソフトバレーボール大会運営、運動会テント設営

(3) 環境整備

古紙回収（学校集積・業者に搬入）。

親子奉仕作業（高地内清掃・樹木剪定）今年度は雨天中止

(4) 生活指導

学年懇談会。夏休み夜間巡回指導。ふれあいあいさつ運動週間

運動会の駐輪場誘導と整理、場内巡回指導。県下一斉補導・

甲子祭巡回指導。ききょうの里体育祭場内安全管理。

(5) 家庭教育委員

給食試食会。バザーを開催して、制服等リサイクル・日用品バザー。

卒業生用のコサージュラッピング。

各部共通の取り組み

運動会において、会場巡視・P T A種目参加等。校内巡視。

文部科学省の道徳教育推進事業の一環で行われた、三校合同子育て講演会に6月、11月の2回参加。

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・様々な活動を通して、教員と話す機会が増え学校の様子を知ることができた。
- ・P T A同士が仲間意識を持って競技に取り組んだことでたいへん盛り上がりのある活動になった。
- ・ソフトバレーボール大会を通して小学校の役員さんと交流、意見交換できたことと役員同士楽しく親睦を深められることができた。
- ・環境整備部は各地区1人以上の評議員が所属しており、地区の保護者、生徒と連携が取れていた。本部（学校）では参加する部を決めて行い、生徒、保護者、教師と協力し合い大きなトラブルもなく作業することができた。

- ・古紙回収…収益を得ることができた。
- ・親子奉仕作業…体育祭に向けて意識を高めることができた。
学校きれいにすることで、大切に使おうという気持ちを育てる。
- ・親子、教師が共に働く中で、和やかな会話が生まれより一層相互理解につながる。
- ・学年懇談会…思春期の子育て、新級進学に対しての不安を多数の保護者と合うことができた。
- ・各種巡回指導で何事もなく無事に終わることができた。地区の進路危険箇所や中学生の立ち入り禁止店舗、コンビニでの中学生の様子を知ることができた。これからの地区防犯に役立てたい。
- ・給食試食会を通して、生徒たちが毎日食べている給食が栄養士さんの管理によって安全で栄養やカロリーなどが、しっかり考えられていることが改めて分かった。
- ・バザーにおいては、毎年楽しみにして朝早くから並んでいる方がいることを知り、地域と学校をつなぐ良い場になっている。

－反省点－

- ・子育て講演会は大変良い講演だったが、夜の開催と宣伝不足のため参加者が少なかった。
- ・古紙回収の日時等の事前確認（業者）を密にしていきたい。

－改善案－

- ・仕事内容の確認と徹底。
- ・児童数、世帯数の減少で地区評議員の見直しを検討していきたいと考えている。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立鷹岡中学校 会長名 富士本恵子

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

本部 天文教室 生活指導部 交流会
環境整備部 奉仕作業
成人教育部 ①大鷹新聞発行
②三校合同事業（当番校）
体育保健部 インディアカ大会開催
家庭教育委員会 バザー コサージュ作り

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
—具体的な効果—

成人教育部 三校合同事業

本年度より富士・富士宮地区の高校にお願いをして、部活動による発表・演技等を行っていただきました。（今年度は富士見高校が来校）高校側にも良い評価をいただきました。

—反省点—

本部 天文教室→参加者が限られた生徒になってきているため、参加者をもっと増やしていきたい。

成人教育部 三校合同事業→地域の方々へもっとPRしていきたい。
（PR不足で地域の方の参加が少なかった。）

—改善案—

各部、例年通りの活動を行っていくことがだんだんと困難になってきているので、今後に向け、三役会等で積極的な話し合いを行っていきたい。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立岳陽中学校 会長名 勝呂 光代

平成30年度重点活動の具体的な取組内容

- | | |
|--------|---|
| 成人教育部 | ・ P T A新聞「陽だまり」の発行（年3回）
・ 広見・丘地区文化祭掲示用壁新聞作り
・ 富士市 P T Aつどいに向けてのポスター作成 |
| 環境整備部 | ・ 奉仕作業、古紙回収、アルミ缶回収の実施
・ バザーの実施 |
| 体育保健部 | ・ 親子ファミリーバドミントン（練習会と大会の運営）
・ 体育大会駐車場係
・ 親子 A E D 講習会 |
| 生活指導部 | ・ ハイタッチあいさつ運動（年2回）
・ 下校時見守り活動
・ 県下一斉補導（年2回）
・ 広見夏まつり巡視活動
・ 体育大会（広見公園駐車場パトロール） |
| 家庭教育委員 | ・ 「感謝の日」プレゼント作り
・ 卒業生用コサージュ作り |

取組の効果

1. (有) 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・ 各行事への参加を呼び掛けたり、活動をしたりすることを通して、教職員と保護者、保護者同士の親睦が広がった。特に、生活指導部の「ハイタッチ運動」では、専門部員以外からも参加の申し出があり、一般の保護者にも活動の趣旨が浸透したことが、大変良かった。
- ・ 学校と P T A または地域との連携が増え、学校の教育活動に対する保護者や地域の理解や協力が深まった。特に、環境整備部の古紙回収では、今まで地域の古紙ステーションに岳陽中専用ボックスを設け、そこに古紙を入れるのみだったが、今年度は回収を学校職員と保護者が共に行うようにし、より連携が強まった。
- ・ 体育保健部の「ファミリーバドミントン」「A E D 講習会」、環境整備部の「奉仕作業」等、親子で参加する活動を通して、家族間のコミュニケーションを図ることができ、親子の会話が増えた。

－反省点－

- ・ 奉仕作業では、チェーンソーの刃の損傷が激しく、当日の作業の一部が滞ってしまった。また、ファミリーバドミントンでは、練習の段階で羽が数多く壊れてしまった。事前の確認の必要性を実感した。

－改善案－

- ・ 今年度中にチェーンソーの刃を新しいものに換え、バドミントンの羽も多めに購入した。各専門部の活動の事前確認を細かく行い、当日の活動に支障をきたさないようにする。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉原北中学校 会長名 渡邊 正二

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・生活指導部…夜間地域巡回運動（年3回）、県下一斉補導（年2回）、運動会構内巡視
- ・成人教育部…PTA新聞発行（年2回）、PTAのつどい掲示物作成、運動会・文化発表会での写真撮影
- ・環境整備部…古紙回収（年2回）、奉仕作業
- ・体育保健部…PTA球技大会、運動会駐車場、運動会PTA種目参加
- ・家庭教育委員会…思春期講座、給食試食会

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・PTAのつどい掲示物作成では、成人教育部の部員が1年間のPTA活動について思い出し、意見交換をしながら作成することで、他の部員が行っている活動についても理解を深めることができた。
- ・PTA球技大会では、親子で参加する活動を通して、親睦を深めることができた。

－反省点－

- ・8月に奉仕作業を予定していたが、本年度は酷暑のため、生徒の参加は取りやめ、保護者と教員で作業を行った。生徒の健康面に配慮しながら実施できるように、実施日の調整を行っていきたい。
- ・古紙回収での環境整備部員の仕事内容が、小学校区によって違いがあったり、口伝えであったりしたことによって、部員の仕事が徹底されておらず、部員が何をしたらよいかわからない地域があった。

－改善案－

- ・労力に対して、効果が少ない事業については廃止や別事業への変更を行う。（夜間地域巡回運動、運動会・文化発表会写真撮影）
- ・専門部における部長と部員の仕事内容について、口伝えではなく紙や電子データとして記録に残し、引継ぎを確実にを行う。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士川第一中学校

会長名 辻 直人

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

- 【本部】 ・本部、学校間の連携強化（学校行事への積極的な協力 等）
- 【生活指導部】 ・春、秋季交通安全・あいさつ運動 ・下校時安全指導・体育祭巡視
- 【環境整備部】 ・廃品回収（2回）・愛校作業（学校敷地内の除草作業）
- 【成人教育部】 ・機関紙「ゆうかり（2回）」「ゆうかり瓦版（1回）」の発行
- 【体育保健部】 ・学校保健委員会（2回） ・思春講座（2回）・体育祭P T A種目
- 【家庭教育員会】 ・バザー開催 ・コサージュづくり

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- 【本部】 ・学校行事への積極的な協力ができる。あいさつ活動を通して生徒と触れ合うことができた。
- 【生活指導部】 ・生徒への声掛けができ、地域で登下校を見守ることができた。
- 【環境整備部】 ・台風のため自主参加となった愛校作業では、多くの保護者に参加してもらい、学校がきれいになった。
- 【成人教育部】 ・P T A行事を取材して、生徒の活躍を地域に発信することができた。
- 【体育保健部】 ・生徒の心の回復力を助けるような学校保健委員会になった。
- 【家庭教育員会】 ・制服バザーやコサージュ作りで、地域や生徒を笑顔にできた。

－反省点－

- 【生活指導部】 ・下校指導では、声掛けが難しい場所もあった。
- 【環境整備部】 ・廃品回収の回収量が少なかった。地域への案内時期が難しかった。
- 【成人教育部】 ・ゆうかりの印刷数が多いのかどうかの結論が出なかった。
- 【体育保健部】 ・体育祭の順延により参加できない部員もあった、

－改善案－

- 【生活指導部】 ・下校指導では、道路のどちら側に立つか再検討する。
- 【環境整備部】 ・廃品回収自体の有り方について検討する。
- 【成人教育部】 ・ゆうかりの印刷数について検討して減らしていく。

平成30年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士川第二中学校 会長名 木伏 健

平成30年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・「楽」をテーマとし、楽しく充実したP T A活動を推進する。
- ・各専門部の活動内容の精選と充実。
- ・保護者と教職員の連携を深めることができる活動を工夫する。
- ・二小及び学校運営協議会との連携を深め、地域と共に学校に関わる P T A を目指す。

取り組みの効果

1. ① 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

- ・「二中フェスタ」において、親子がともに楽しめる時間を生み出し、保護者が学校を支え、生徒たちにとってもプラスに働いている実感をもてる活動になった。
- ・本部役員会を理事会として、各専門部の委員長にも参加してもらうことで、各専門部の横のつながりができるようになり、また各専門部での話し合いがより充実するようになった。
- ・家庭教育部においては、活動内容について保護者にアンケートを募るなど、より良い活動にするために広く意見を求める努力を行った。
- ・昨年度から2回に増やしたリサイクル活動が2年目となり、古紙だけでなく、衣類やぬいぐるみなども集まるようになった。
- ・保護者と教員の研修旅行を企画し、互いにコミュニケーションを深め合うことができた。
- ・P T A会長を中心に小学校と共に何ができるかの話し合いをスタートさせることができた。また、学校運営協議会の方との顔合わせを行い、共に学校を支えていく意識を確認できた。

—反省点—

- ・リサイクル活動では、2回目の回収量が少なく、より周知の努力が必要だと感じた。
- ・学校公開日のアンケート回収率が大変低く、アンケートの置き場や回収方法を再考する必要があると思えた。

—改善案—

- ・リサイクル活動は、1週間の期間があることを保護者に知らせ、色々な方法で回収できることをお知らせする。
- ・学校公開日のアンケートの設置場所、設置方法、また回答をお願いするアナウンスなどの工夫に努める。(まちこみの利用やお便りの配布)